

APL治療開発マップ <65歳

対象	標準治療	臨床試験			
初発	<p>寛解導入療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ATRA(45mg/m²) +化学療法 (WBCに応じて) ・ ATRA(45mg/m²) +ATO (国内未承認) <p>地固め療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学療法3コース ・ ATO (国内未承認) ・ ATRA併用 <p>維持療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ATRA ・ ATRA+6MP+MTX ・ AM80 	<p>jRCTs041180100 追跡中・Phase II 急性前骨髄球性白血病に 対する亜ヒ酸、GOを用 いた寛解後治療 非ラン ダム化 第II相 (JALSG APL212) 2012.4 ~ 2016.10→2022.3</p>	<p>UMINC000000154 追跡中・Phase III 成人急性前骨髄球性白 血病を対象とした第III 相臨床試験、長期予後 観察(JALSG APL204L) 2004.4~ 2010.12→2020.3</p>	<p>jRCTs071180040 登録中・Phase II 急性前骨髄球性白血病 に対する治療プロト コール FBMTG APL2017非ランダム化 第II相 (九州医療セン ター) 2017.1~ 2021.12→ 2026.12</p>	<p>準備中 (JALSG) APL220</p>
再発・ 難治	<p>救援療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ATO(60mg/m²) +化学療法 (WBCに応じて) <p>再寛解後療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家移植 ・ 同種移植 ・ GO 	<p style="text-align: right;">新規</p> <p>jRCTs041190101 登録中・Phase II 再発急性前骨髄球性白血病(APL)に対する Tamibarotene(Am80)と亜ヒ酸(ATO)の併用、寛解 後療法としてgemtuzumab ozogamicin (GO)を用い た治療レジメンの有効性および安全性検証試験 非ラン ダム化 第II相 (JALSG APL219R) 2019.12 ~2022.11→2025.5</p>			

ATRA; 全トランス型レチノイン酸, ATO; 亜ヒ酸, 6MP; 6メルカプトプリン, MTX; メトトレキサート, GO; ゲムツズマブオゾガマイシン, AM80; タミバロテン.

APL <65歳 治療開発マップ 更新一覧表

	試験ID	試験名	旧マップ	新マップ	URL
新規	jRCTs041190101	再発急性前骨髄球性白血病(APL)に対する Tamibarotene(Am80)と亜ヒ酸(ATO)の併用、寛解後療法としてgemtuzumab ozogamicin (GO)を用いた治療レジメンの有効性および安全性検証試験 非ランダム化 第II相 (JALSG APL219R)			https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCTs041190101